

道立林業学校の誘致は、他地域でも活動を始めています。今月は、本市と他地域の動向をお知らせします。

【芦別市と北海道の動向】

平成25年～	市内木材団体が、道立林業学校の必要性について検証を始める。
平成27年 7月	芦別木材協会ほか民間団体3者から、芦別市長に「林業学校を芦別に設立する要望書について」が提出される。
平成28年 3月	「芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会」（会長・坂田憲正芦別商工会議所会頭）が発足。
平成28年 4月～	北海道立林業学校の設立を要請するために、空知・上川管内市町長、林業・林産業関係団体へ林業学校の必要性について説明を行う。また、期成会は先進地視察、セミナー・シンポジウム開催などの活動を進める。
平成29年 3月	北海道議会において、知事が「林業大学校など人材育成機関の設立に向けて早急に検討する」と表明する。
平成29年 4月～	知事の表明を受け、芦別市への誘致活動を開始する。
平成29年 6月	北海道議会において、知事が林業大学校など人材育成機関について、「有識者による検討会を早急に設置する」、「具体的な教育課程や運営体制、施設などの基本的な考え方を年内にまとめる」と表明する。
平成29年 8月	芦別市長、芦別市議会議長、芦別市北海道立林業学校設立・誘致期成会会長が、連名で知事に対し「北海道立林業学校の早期設立、および芦別市への誘致に関する要望書」を提出する。（北海道内第1号）
平成29年 8月～ 9月	空知・上川管内市町長、林業・林産業関係団体、北海道選出国會議員、北海道議會議員に、知事に提出した要望書について説明を行う。

【他地域の動向】

平成29年 5月 9日	網走郡津別町が「北海道立林業大学校誘致期成会」を発足。
平成29年 7月31日	網走西部流域の自治体（紋別市ほか5町1村）と森林・木材関連団体が網走西部流域「北海道立林業大学校」誘致促進期成会を発足。
平成29年 8月 9日	美唄市が「美唄市道立林業大学校誘致期成会」を発足。
平成29年 9月 4日	十勝管内の自治体（1市16町2村）と森林・木材関連団体が「道立林業大学校・十勝誘致協議会」を発足。
平成29年 9月21日	網走西部流域「北海道立林業大学校」誘致促進期成会が北海道に誘致の要望を行う。
平成29年10月上旬	根室管内の自治体（1市4町）が期成会設立を予定。



道立林業学校を

芦別に

— 3 —

シンポジウムを開催します

- ◎日時 11月14日(火) 午後3時～
- ◎会場 総合福祉センター大ホール
- ◎内容 京都府綾部市長の山崎善也氏による基調講演を行います。

市長だより

○：皆さんこんにちは。日増しに寒さが加わる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
○：10月に入り、健康都市宣言記念事業の「市民ラジオ体操会兼あるけあるけ運動」、芦別ロータリークラブ主催の「北空知U-10（小学4年生以下）少年サッカー大会」、星槎国際高校の「星槎祭」、芦別市国際交流協会主催の「国際友好ジャンボかぼちゃ祭り」、MOA美術館芦別児童作品展、市長杯パークゴルフ大会など数多くの行事が開催されました。

主催やご協力をいただいた関係者の皆様に感謝申し上げますとともに、これらの行事が子どもたちの健全育成や市民の健康、交流の場として、笑顔があふれ、元気でにぎわいのあるまちづくりにつながることを願っております。
○：2月26日の市長就任以来、今回初めて市民の皆さんとの懇談の場として、「まちづくり懇談会」を設けさせていただきました。10月16日から延べ5日間、市内9会場で開催し、市の当面する行政課題や市政全般について、また、日ごろ市民の皆さんが感じておられることなどに

いて率直な意見交換をさせていただきました。頂戴した意見等については、今後の市政運営に生かしてまいります。
芦別は、人口減少や少子高齢化が進行しており、新たな視点でのまちづくり、芦別創生に向けた取り組みが求められていることから、今後コンパクトなまちづくりに一層意を用いていくことが重要と考えております。
また、市民の皆さんに、安心して「住み続けたい」と思ってもらえることが何より大切であり、市民の皆さんの福祉や健康、幸福のために努め、同時にこれからのまちづくりは、行政だけの力では及びませんので、市民の皆さんや企業、地域の皆さんと一体で、まさに「オール芦別」で力を合わせ、総合力をもって取り組んでまいります。
○：11月は各種の懸案事項の要望のため出張が多くなりますが、しつかり「地方の声」、「地域の思い」を届け、伝えてまいります。
○：市民の皆様には向寒のみぎりにて体調管理等ご自愛いただきお過ごしください。

芦別市長 荻原 貢